

本校の姉妹校・台湾の中壠高校との学校交流



5月16日の月曜日、台湾の中壠高校から2年生43名と、校長先生を含めて教員5名とガイドの1名、合計49名の皆さんが泉北高校に来られました。前日の15日に台湾の桃園空港を飛び立ち、京都と奈良、そしてUSJを巡り20日に帰国する旅行ですが、その行程のメインイベントが泉北高校への学校訪問でした。宿泊ホテルが琵琶湖の近くであったため、交通渋滞で遅れてはいけないと、早めの到着になりました。

2限目は視聴覚室で当日のスケジュールの確認した後、堺市を紹介した中国語のビデオと泉北高校生の賑やかな様々な一年を記録したDVDを見て頂きました。3限目は授業交流で4つのグループに分かれた。それぞれ1年6組の生物(担当は森山先生)と化学(担当は大西先生)、2年1組の異文化理解(担当は森下先生と吉田先生、ALTのSydaine、Amanda)の授業を受けました。実験ありクイズあり、いつもとは違った雰囲気での楽しい授業でした。

その後、食堂で2年生の有志一同と昼食交流でした。中壠生のメニューはご飯と鮭のそぼろ、コロッケにシューマイと餃子、ポテトサラダで、泉北生は持参のお弁当です。今回は有志一同だったため、人数が少ないのが気に掛かりました。せっかくの交流ですから、もっと積極的に参加して下さい。

4限目は1年2組の生徒と一緒に歓迎会です。両校の校長先生と教頭先生のご挨拶に始まり、記念品の交換をしました。中壠高校からは両校の友好を願った光る(?)石がプレゼントされました。校長室に安置(?)していますから、興味のある皆さんはぜひ見に行ってくださいね。泉北高校からは、金地に華やかな桜が描かれた扇子が贈られました。その後、中壠生の群舞とモダンダンスやマジックショーが披露されました。国際交流が初めての1年生にとっては、感激と驚きの連続だったようです。そして次は、指とジェスチャーだけで、自分の誕生日を相手につたえ、泉北生と中壠生の合計83名が、1月生まれから順番に輪を作るというバースディチェーンというゲームをしました。なんと6分程度で、視聴覚室に大きな輪が出来上がり、両校の生徒もすっかり打ち解けることができ、そのままお互いに英語でインタビューとなりました。1年2組の皆さんはとても人なつっこくて明るく、すっかり中壠生と仲良くなり、非情にもチャイムが鳴った時は悲しい別れとなりましたが、寸暇を惜しんでお互いのメールアドレスを交換する姿も見られました。

5限目は、この交流のために時間割変更がされた2年生のLHRです。中壠生が7つのグループに分かれ、2年のHR教室に入ります。お互いの自己紹介やプレゼント交換に始まり、日本と台湾の文化紹介、また質問したいことやクイズやゲームが、本当に楽しく繰り広げられました。政治的な課題や領土問題など、東アジアの今後は緊張関係が続きますが、今回のこのような交流の経験が、みんなの頭の中から消えないことを祈っています。

なお2年生は11月9日から12日までスタディツアーで台湾へ行きますが、学校交流はもちろん、この中壠高校にお伺いします。再び今回の中壠生と交流することが出来ればいいですね。